

第 65 号

発行日

2023. 3.15

Super Highway

春闘速報 11

J R 東労組バス関東本部

そもそも、春闘とは・・・

「春季生活改善闘争」の略称。

産別（私たちの場合は JR 総連）に加盟する労働組合が統一した要求をもって会社に交渉をすることです。春闘がおこなわれる前までは労働組合と会社が個々に交渉をしていました。しかし、一企業と一労組では十分にたたかう力が無いので、一緒の時期に一緒にたたかい。相乗効果を高めること（統一闘争）が春闘のゆえんです。また一つの労働組合が賃上げを勝ち取るとその会社の賃金条件は良くなるのですが、一方では会社の競争力を下げってしまう矛盾も発生していました。この矛盾を解消するために、産別の労働組合が「統一した要求」をすることで、会社の競争条件を同じに、競争力を下げずに賃上げを勝ち取ることができる。一番景気の良い企業の産別に要求額を設定（統一要求）し、各労働組合が各会社と集中決戦を迫るという方式（高原闘争）が 1955 年から始まり、現在の統一要求・統一闘争の春闘形態となっています。

なかまの声

コロナに苦しんだ 3 年間だったが単月黒字を達成したので、我々の生活を安定させる為に満額回答を望む。

物価高騰給料据え置きでは、生活が苦しくて、何の為に仕事をしていくのか、分からなくなる。ゆとりある生活を求む。安心安全快適な暮らしをバスだけでなく、日々の人生にも言える事。満額回答、宜しくお願い致します。北朝鮮ミサイル問題もあり、コロナウィルスもあり、情勢コロコロ変わるが、単月黒字達成という証明のもと、数字にあらわしても良いのでは？モチベーションにかかわる問題だし、数字で結果出してくれたら、また黒字化に向けて頑張ろうという意欲が湧く。以上。

また、国鉄時代からの悪しき伝統・慣行で、世間一般の企業には全く存在しない、55 歳、57 歳での給料 1 割カット。そして退職金を目減りさせるためだけの第二基本給。この機会に廃止していただきたい。優秀な人材の採用がままならない現実の中、貴重な経験を積んだベテラン社員を、まるで厄介者の邪魔者扱いするような制度は、今こそ改めるべきだと考える。

J R バス 関東で働く仲間を一つに！